

スロベニア 海外安全対策情報 (2025年1~3月)

1 治安情勢

(1) 一般情勢

治安は比較的安定していますが、コロナ禍の収束以降、国内での犯罪認知件数は増加傾向にあります。

特に、多くの人が集まる場所(リュブリャナ、ブレッド、ポストイナなど人気の観光地や、イベント会場等)で、置きみやすり被害が多く発生しています。貴重品からは目を離さないなど、十分注意してください。

また、深夜の市街地等では、路上強盗などの凶悪事件も少なからず発生しています。不必要な夜間外出は、避けるようにしてください。

(2) その他の情勢

2024年中の不法移民検挙総数は46,192件で、前年から24%減少となりました。なお、検挙された不法移民の大半は、直ちに他の希望国へ向けてスロベニアを出国しているとのこと。

2 邦人被害認知状況

- * 3月20日午前11時頃、リュブリャナ市街・三本橋付近で、二人組のスリ犯(女)が在留邦人に近づき、ひそかにバッグを開けて貴重品を盗もうとした(未遂)。

3 特異な犯罪事件等の発生状況

スロベニア国内で発生した特異な犯罪事件、事故等は次のとおりです(報道情報による)。

(1) 殺人・傷害事件

- * 1月20日夜、リュブリャナ駅南東・ヴォドマト地区のナイトクラブ付近路上で男性同士が口論になり、一方が刃物で刺されて重傷を負った。

(2) 強盗・窃盗事件

- * 1月8日夕方、リュブリャナ北・ドムジャレの住宅に複数の強盗犯人が押し入った。
- * 1月17日朝、リュブリャナ北西・トルボヴェリエ地区でのアパートで、通信会社の従業員を装った男2人が住人の注意を引いて貴金属を盗んだ。
- * 1月24日未明、スロベニア南西・セノジェチエの ATM が爆破され、現金が強奪された。
- * 2月17日午前、リュブリャナ市街南西・ヴィチ地区の路上で、通行人の女性

が男に襲われ、路上に押し倒されて財布を奪われた。

- * 3月2日夕方、リュブリャナ市街・市場近くのバーで、モロッコ人の男が客の女性に話しかけて注意を引きつつ、ズボンのポケットに入っていた携帯電話を盗んだ。
- * 3月28日、スロベニア北部・ツェリエの携帯電話店にルーマニア人の強盗3人が押し入った。

(3) 銃器使用事件

- * 1月1日早朝、リュブリャナ市街で、男が所持していた銃を発砲し、近隣住居を損傷させた。
- * 1月6日夜、スロベニア南西・ピランで、男性が知人の男に拳銃のようなもので撃たれて負傷した。
- * 1月13日夕刻、スロベニア南西・ポストイナの小学校付近で、照明弾用の銃器を所持し徘徊していた男が逮捕された。
- * 3月18日深夜、マリボルで、男がアパートのバルコニーから銃を発砲した。

(4) その他の特異事件・事故

- * 2024年の年間交通事故死者数は71人で、過去最少となった。また、交通事故総数(19,669件)も一昨年より微減したものの、重傷者数(926人)は増加する結果となった。
- * 2024年の国内での山岳死者数は37人で、前年から大幅に増加した。事故原因の最たるものは滑落で、知識経験や装備の不足が多くを誘発した。
- * 年末年始期間、花火や爆竹の無謀な使用により、特に未成年者の間で多くの事故が発生した。警察が検挙した火工品関係の違反は120件で、押収品は、6,049点にのぼった。
- * 1月13日深夜、スロベニア北西・ブレッド湖近くの集落で、違法な花火または何らかの爆発物とみられるものによる大規模な爆発があり、近隣の多数の住宅が損傷した。
- * 1月27日、スロベニア全土の数百の幼稚園・小中学校に対し、危害をほのめかす脅迫メッセージが送付された。
- * 2月7日、銀行家を騙って法人や個人事業主に接近し、預金を窃取するオンライン詐欺が多発しているとして、警察は注意を呼び掛けた。
- * セルビア国内での学生デモ弾圧をめぐるスロベニア有力者の姿勢に関し、2月8日、リュブリャナ市内で約1,000人が大規模な抗議デモを平穏裡に行った。
- * 2月26日、国内通信大手テレコム・スロベニア社は、保有業務情報の漏洩に関するサイバー・インシデントの発生を明らかにした。

- * 3月9日夜、マリボルで開催されたプロサッカー・ゲームにおいて、一部の観客が暴徒化して花火を放ったり、周辺公共物を破壊したりなどした。
- * 3月10日、スロベニア中部・ヴェリカ・プラニナ付近に小型機が墜落し、搭乗員1人が死亡した。

4 テロ・過激主義事件発生状況

特段のテロ・過激主義事件は認知していません。

5 日本企業の安全に係る諸問題

特段の問題は認知していません。

(了)